

## ユネスコ「世界哲学の日」にフランスに思いを馳せる

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

毎年11月第3木曜日はユネスコの「世界哲学の日」です。英語では World Philosophy Day といいます。今年はおとといの11月19日が「世界哲学の日」でした。ユネスコとは国連教育科学文化機関、国際連合の専門機関のことで、「世界哲学の日」はユネスコによって定められました。

2. 私は、開倫ユネスコ協会の会長という職を仰せつかっています。毎年11月第3週の木曜日には、今日は「世界哲学の日」だと思い、生きるとは何か・人間として価値のあることや意味のあること・どのように秩序だった行動をしたらよいかということを考えます。

今年の「世界哲学の日」の前の週の11月13日金曜日に、ユネスコの本部があるフランスのパリで、イスラム国によると思われる同時多発テロが起きました。そこで、今日の「開倫塾の時間」では、フランスについてお話したいと思います。

3. 今フランスは、恐怖のどん底に落とされていると思います。このようなときにこそ、ユネスコの原点である「心の中に平和の砦を築こう」ということに立ち返って、行動を起こしたいと思います。先ほどもお話したように、大切なことは、今やっていることにどんな価値があるのか・どんな意味があるのか・どのようにしたら自分たちや社会がルールを作って、それに価値や意味を追い求めることができるのかということです。

4. フランスのパリにはユネスコの本部があり、フランスは哲学にとってはとてとても大切な働きをした国です。哲学者が、世の中をどのように考えるのか・自分自身をどのように考えるのか・その中で大切なものは何か・よい生き方をするにはどうしたらよいかということを実際に考えるのが哲学だと思います。そして、哲学のメッカのような国がフランスだと思います。そこで、フランスの哲学者の中で有名な方を少し紹介させていただきたいと思います。

5. モンテーニュという方は、1533年から1592年にかけて活躍なさった方です。「エッセー」、随想録を遺しました。彼は当時の悲惨な宗教戦争を目にして、思想や宗教を絶対化する人間の思い上がりから戦争という野蛮な行為が生まれると批判しました。

モンテーニュは「私は何を知らるか、クセジュ」と自分に問いかけて、どのような思想に対しても常に疑い、自らを吟味し探求し独断を差し控えることを心掛けました。これは、モンテーニュの懐疑主義というそうです。このモンテーニュの懐疑主義は、自分は心理を探求中であるから、何事についても断定的な判断を差し控えるという立場をあらわにしています。

人間は自らの知性と有限さを自覚して、自分の考えを絶対視しない謙虚さと、自分と異なる意見をも取り入れる寛容さを持つべきであるとおっしゃっています。人間は誰でも自分の前のほうを見るけれども、私は自分の内部を見つめると述べ、絶えず自分への反省を繰り返しながら考察を深め、誠実な真理の探究の態度を持ち続けたのがモンテーニュです。

6・また彼は、我はいたるところで風であれとし、風は音を出したり動揺することを好み、自らの勤めに満足をして、安定や固定など自分自身でない性質を求めないと語っています。そして、自分の思想の固定や安定を退ける懐疑の精神の上に、ありのままの自然な人生を享受しようと考えました。

「エッセー」という随筆で、生きるという仕事はあなたの仕事の中で最も根本的で最も輝かしい仕事であると述べました。与えられた人生をそのまま素直に受け入れ、自然な欲求を適度に満たし、人生を愛し楽しんで生きることが人間にふさわしい仕事であると述べています。

神から授けたもうたままの人生を愛し耕す、心から感謝しながら自然が私のために作ってくれたものを受け入れる、またそのようなものを楽しみ誇りにする。このようにして、いかなる思想によってもゆがめられることなく、ありのままに人生を素直に受け入れて、楽しみ、平凡に、しかし誠実に生きる仕事をやり遂げようとしたのがモンテーニュです。

7. このほかフランスには、「人間は考える葦である」と述べたパスカルがいました。また、デカルトは「我思う、ゆえに我あり」と考える私ということを主張なさいました。このような素晴らしい哲学者がフランスにはたくさんいらっしゃいます。

8. 直接民主主義を唱えたルソーは、自然に還れということを唱えました。ジャン＝ジャック・ルソーですね。これはフランス革命の根本的な思想の元となりました。

さらに、パリに生まれ、リセというフランスの高等学校の先生をしながら哲学や文学作品を発表し、「存在と無」や実存主義、ヒューマニズムを唱えてルソーの考えを継いだサルトルという方もいらっしゃいました。ベルクソンは開かれた魂を唱えました。

9. 以上のように、フランスは非常に多くの哲学者を輩出した国です。このフランスが今、テロのために恐怖のどん底にあります。このようなときにこそ、フランスに思いを馳せていただきたいと思います。そして、この番組からも、フランスがんばれというメッセージを送りたいと思います。